

関西業務ニュース

2014年2月20日 No.246

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

2月19日、26年度ダイヤ改正に関する業務委員会を開催。

会社より「平成26年度春ダイヤ改正による要員等について（乗務員関係）」

「検修業務量」

「平成26年3月ダイヤ改正 車両計画現改比較（平成26年3月15日改正）」

「関西地区の通勤回送について」

について提示を受ける。

《会社説明》

「平成26年度春ダイヤ改正による要員等について（乗務員関係）」・・・別紙参照

「検修業務量」・・・別紙参照

「平成26年3月ダイヤ改正 車両計画現改比較（平成26年3月15日改正）」・・・別紙参照

「関西地区の通勤回送について」・・・別紙参照

口頭による補足3点（概要）

1. 新大阪引上1・2番使用開始について

- 平成26年春のダイヤ改正に伴い、新大阪引上の1・2番線で営業に充当する列車の入線を開始する。

2. 大交両の交番検査の稼働日数について

- 平成26年の交番検査車両所の稼働日数は臨時列車の設定等に基づき254日を予定している。9日間の稼働日については特休を分散して付与する事で対処する。ただし、お客様のご利用動向などを踏まえ業務量の見直しを行うことはある。

3. 大仕両申告班、新大阪支所の業務波動に伴う増員対応について

- ① 大仕両の仕業申告班が担当する申告業務やパンタ点検業務は、業務量に波動がありそれらが多い日については必要な要員を確保する。具体的には日勤2種1名を交代4形勤務に変更する事で対応する。
- ② また、新大阪支所の申告業務を臨時列車の設定等で業務量が多い日については必要な要員を確保する。具体的には日勤2種1名を増員する事で対応する。

《若干のやり取り》

大仕・支所の波動要員措置について

組合：12月24日に出面についての増減提起があったが、今回の大仕両と支所の要員について、臨時列車の増に伴ってと認識で良いか。

会社：何本だから設定とかではない。入ってくる時間帯や、業務量をシュミレーションして、必要か否かを判断する。前月の勤務指定日に指定する。

乗務員関係について

組合：休日出勤は解消されるのか。

会社：26年度完全解消はない。最大限養成など努力している。好調な利用状況もあり、夏以降はハッキリしないが、今年度ベースより増の可能性ある。

組合：今年度1泊ないし2泊だった。それよりも増えるという認識で良いか。

会社：そうだ。

組合：休日出勤は解消するのではないのか。

会社：完全に解消とはならない。様々な対策をやっている事は理解を。世の中状況、効率的な行路、専任社員の活用などを行っている。

組合：休日出勤解消のスタンスに変わりはないのか。

会社：これまでと変わりはない。

組合：解消するならもっと運輸所の増員が必要だ。

会社：養成といっても学園に入所とか今の要員も変動するので。

組合：「改正要員」で運転士8、車掌23名増となっているが、総合職も入れてか。

会社：今いる要員とかではない。臨の予定を見込んでこれくらい必要という要員。

組合：臨時列車が最大の場合を想定か。

会社：今までの臨とか実績、色々なものをふまえたもので、最大との考えではない。

組合：1・2運の要員をこれより増やす予定はないのか。

会社：示している数が必要数である。

組合：臨とかで曖昧にされてハッキリしない。そんないい加減ではないはずだ。

会社：示せる時期が来れば示す。精査中である。

組合：2013年度の列車、車両の走行キロの実績は示せるのか。

会社：東海の車両だけだを示している。

組合：今年度の実績は出せないのか。計画と実績がどうだったか判断できる。

会社：出す必要があるのかという問題だ。

車両所関係・検査業務量について

組合：「検修業務量」の「申告処理及び折り返し本数等」にある「昼」とは何時から何時を指すのか。

会社：概ね、日勤で処理・業務する人の時間帯である。

組合：仕業検査車両所における昼の申告処理及び折り返し本数等で17本とあるのは、鳥飼基地に回送される全ての本数なのか？

会社：申告処理を含めた駅から折り返しの本数ということである。

組合：申告の本数は昼と夜で29本なのか。

会社：基本の計画として立っている中での本数である。

組合：新大阪駅引上線の昼本数19本のうち、申告処理対象編成はプラス5本という本数は少なくないか。臨列車は何本くらい入る予定なのか。

会社：運用計画段階で、今は申し上げられない。

交番検査について

組合：本年度の交番検査施行本数は $2214+9=2223$ で良いのか。

会社：その見込みである。

組合：交番検査施行本数は増える予測なのに、列車キロ・車両キロは減っているのではないか。

会社：列車キロ・車両キロ東海編成のみの算出である。交番検査施行本数は臨時列車設定に基づいて予測されるものを示している。

組合：休日の分散付与が9日発生ということだが、この間も議論してきたとおり、土日祝日を休みの基本とすること。また、今年の正月に行った年末年始の出勤はやめて、4日スパンの休みを強く要望する。この件については他の労働組合からも同様の要求が上がっているはず。

会社：交検の稼働日は、お客様のニーズを考え設定している。

台車検査について

組合：稼働日は今245日だが増えるのか。

会社：変わらない。

組合：今年度は白日が結構出たが、来年度も発生するのか。

会社：1日8台車の業務能力がある。ある程度の白日は発生する。

組合：6日出勤は発生するのか。肉体的にも精神的にも辛い。せいぜい5日までである。6日出勤は解消すること。

会社：計画運用で定めるもので、6日出勤があれば3連休がある。極端にならないように努力している。

全般検査について

組合：全般検査の業務量が778両ということは昨年度と比べて4両だけ増えるのはどういうことなのか。

会社：年度末のまたぎで出てくるカウントでどちらかにするかである。

その他について

組合：夕方の通勤回送の設定で到着時刻が10分早くなっているが。

会社：2年前と同じイメージである。

組合：台検がバタバタする。今の52分くらいでいいのでは。

会社：以前は早く設定しろとの要望があったではないか。

組合：その時とは状況が変わっている。要望はその時々で変わる。

以上